

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（水稲）

地域（標高）	松本市島内（標高：約630m）
土壌（土性）	砂壤土

項目	生産計画の内容	補足メモ																																		
1 栽培 状況	(1) 品目 水稲（品種：コシヒカリ、風さやか、ひとごち、金紋錦、しらけもち）																																			
	(2) 面積 1550 a																																			
	(3) 栽培戸数又は労働力 5人																																			
	(4) 栽培期間 平成26年5月～平成26年10月																																			
	(5) 収穫期間 平成26年9月15日頃～平成26年10月10日頃																																			
	(6) 収穫量 H25実績 68,000 kg（うち出荷量：68,000 kg） H26計画 58,400 kg（うち出荷量：58,400 kg）																																			
2 栽培 方法	(1) 土づくり マインマグ（ケイ酸資材）を元肥で20kg/10a、追肥で10kg/10a施用。 ケイ酸は植物の骨格を丈夫にし、植物の窒素吸収を促進する効果があり、丈夫な植物体になる。																																			
	(2) 播種 平成26年4月20日～	1か月後に田植えができるように播種している。種子は温湯消毒している。																																		
	(3) 育苗 平成26年4月20日～6月10日																																			
	(4) 田植え 平成26年5月20日～6月10日	苗は中苗を使っている。																																		
	(5) 施肥 ○化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術 有機質資材施用技術 ○技術を導入する際の考え方 丈夫な植物体にするため、ケイ酸と窒素を中心とした施肥設計をしている。 肥料の施用状況																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="4">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> <th rowspan="2">加里</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶏糞（乾燥）</td> <td>100</td> <td>3.9</td> <td>0</td> <td>6.1</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>NKC-201</td> <td>20</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120</td> <td>7.9</td> <td>4</td> <td>6.1</td> <td>4.6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>低減率 (%)</td> <td>63.6</td> </tr> </table>			肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)				窒素		リン酸	加里	うち化学由来		鶏糞（乾燥）	100	3.9	0	6.1	2.6	NKC-201	20	4	4	0	2	合計	120	7.9	4	6.1	4.6	地区慣行施肥量 (kg/10a)	11	低減率 (%)	63.6
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																		
		窒素			リン酸	加里																														
		うち化学由来																																		
鶏糞（乾燥）	100	3.9	0	6.1	2.6																															
NKC-201	20	4	4	0	2																															
合計	120	7.9	4	6.1	4.6																															
地区慣行施肥量 (kg/10a)	11																																			
低減率 (%)	63.6																																			

2 栽培方法

(6) 病虫害防除

○化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術

温湯種子消毒技術

○技術を導入する際の考え方

- ・最近の品種はいもち病が起きにくいので、殺菌剤は使用していない。また、カメムシによって斑点米ができて、色彩選別機で取り除くことができるので、殺虫剤も使っていない。
- ・雑草対策のみを行っている。除草剤をまく際も、水田の様子をこまめに観察し、もっとも薬剤の効果があらわれる時期を見計らって散布している。

病虫害防除の内容

	使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数
殺虫殺菌剤								
殺菌剤								5
殺虫剤								3
除草剤	アルファーフフロアブル	500ml/10a	1	1	1			4
	テラガードLジャンボ	250g	3	1	3			
植調剤								
合計					4	0	0	12

農薬の使用回数	4
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	12
削減率 (%)	66.7%

(7) 雑草防除

水管理と除草剤で防除している。田植えをして3日以内にアルファーフフロアブル（初期剤）を投入している。初期剤を投入して約1カ月後、初期剤の効果が切れてきて雑草が水面から顔を出したころ、テラガードLジャンボ（中・後期剤）を投入している。除草剤を投入したときは、投入後1週間は排水しない。また、投入後1カ月は水を切らさないように気を付けている。

(8) 水管理

水を切らさないように気を付けている。水田によって水もちが違うので、水もちが悪いところはこまめに水を入れるなど、水田の様子を頻繁に見に行っている。また、代かきをして水田を均平にしておかないと、土が水面から顔を出しやすくなり、雑草が生える原因になるので、代かきはしっかりと行い、土の高さを均一にする。

(9) 収量の状況

約540kg/10a。

(10) その他特記事項

土壌改良資材としてケイ酸資材を使用している。ケイ酸は植物の窒素吸収を調節する働きがあるといわれており、窒素肥料とともにケイ酸資材を散布すると植物の窒素吸収を促進し、丈夫な植物体になる。

3 販売状況

(1) 主な販売地域

松本市内

(2) 販売方法

直売所、飲食店、個人への直接販売

(3) 県認証の活用方法

袋にシールを貼り、県認証のチラシも入れて取引先へ販売している。

(4) 実需者や消費者の反応、メリット

価格メリットはあまりないが、環境にやさしい農業を行うことに意味があると思って取り組んでいる。

始めた動機	もともと、有機JAS認定のような認証事業があればいいなと思っていた。そのときに県認証が始まったので、申し込もうと思った。環境にやさしい農業に取り組むことに意味があると思って続けている。
コメント	県認証のことが消費者に浸透していないので、県としても認証のことをもっとPRしていってほしい。

<栽培暦>

作業	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
耕起・施肥																																							
育苗 ～ 収穫																																							
病害虫防除																																							
除草																																							
土づくり 施肥																																							

ここがポイント！

・栽培する上では、水管理に一番気を付けている。除草剤をまいても、水が漏れてしまっていたり、田んぼが乾いてしまったりすると薬剤の効果が弱まってしまう。普段から水田の様子をこまめに見に行き、最適な時期を見極めて行動するようにしている。

<栽培状況等の写真>



水稻の生育状況